

平成29年度

学校評価アンケートの集計結果

三田市立狭間中学校

＜回答者＞ 生徒：366/389人 保護者：281/359人 教職員：32/32人

*保護者は、個々の子供に関する回答も含む

*教職員は、教員・事務員・校務員・介助員・指導員

＜回答方法＞ 4段階 A. そう思う B. ややそう思う
C. ややそう思わない D. そう思わない

＜項目ごとの分析と検証＞

1. 学校は、通信などで、学校や生徒の様子をわかりやすく伝えている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	54.9	41.3	3.3	0.5	・学校HPの写真掲載で学校の様子がよくわかる。
保護者	39.6	52.9	6.1	1.4	
教職員	59.4	37.5	3.1	0.0	

◇写真や記事の掲載にあたっては、個人情報の保護に留意しながら、教育活動や学校の様子がよりわかるように、学校ホームページの充実にも努めます。

2. 授業参観や行事など、学校を開放して生徒の様子を見る機会を設けている

%表示	A	B	C	D	＜意見＞
生徒	68.9	29.2	1.6	0.3	・特になし
保護者	61.6	37.4	1.1	0.0	
教職員	68.8	28.1	3.1	0.0	

◇今年度もオープンスクールを2回実施（授業参観3回）しました。また、学校行事や活動報告会以外にも、生徒向けの講演会などもお知らせして保護者参観の機会を増やしていきます。

3. 先生は、教え方を工夫してわかりやすい授業を行っている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	49.5	44.8	5.2	0.5	・学校行事の都合でずっとない教科や同じ教科が3時間あったりする。
保護者	18.6	66.1	13.1	2.2	
教職員	34.5	65.5	0.0	0.0	

◇保護者からは「一人一人に落とし込める内容であってほしい」等の授業内容の改善や「聞き取りにくい話し方で早口」等の指導に対する意見がありました。

本校では「生きて働く言葉の力」をテーマに授業研究を進めています。今後も授業公開や研修会を実施して授業力の向上に努めていきます。

4. 学校は、基礎学力の定着に向けた取り組みを行っている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	54.1	43.2	1.9	0.8	・テストの点数に波があり、自宅での勉強方法が適切なのか不安。
保護者	19.9	63.8	15.6	0.7	
教職員	30.0	56.7	13.3	0.0	

◇数値にも表れているように、「基礎学力の定着」は、本校の重要な取組課題と捉えています。

保護者からは「塾に行くことが前提になっているスタイルに不安を感じる」「時間割表がある方が、子どもも先の見通しがつく」等の意見がありました。また、教師からは「独自の漢字検定や

英・数検定を実施すれば…」といった斬新な提案もありました。

本校では、3教科（国語・数学・英語）で学級を二つに分けた少人数指導や教師二人による同室複数指導を実施しています。まずは各教科で授業の改善に努め、基礎学力の定着を図るとともに補習等の個に応じた対応や新たな取り組みを検討していきます。

5. 学校は、命の大切さや思いやりの心など、豊かな心を育てようとしている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	57.9	35.5	5.5	1.1	・学校生活は、親は見えていないのでどう教えているのかわからない。
保護者	26.1	65.4	7.1	1.4	
教職員	40.0	56.7	3.3	0.0	

◇本校は「人間尊重」を基盤とした教育活動に心掛け、“礼”を重んじる指導を行っています。授業だけでなく、学級活動や学校行事などの学校生活全般において、人と人との関わりを通して学ばせていきたいと考えています。

6. 生徒は規律正しく、落ち着いた学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	31.7	51.1	13.7	3.6	・授業中に私語をしている人がいます。 ・上級生が暴れている。
保護者	35.6	54.8	7.8	1.8	
教職員	56.3	31.3	12.5	0.0	

◇月1回の「生活アンケート」からも「教室で暴れたり、廊下を走ったりしている」等、休み時間や給食準備時間の過ごし方が本校の課題となっています。また、授業によっては落ち着かない時がありますので、節度ある休み時間の過ごし方や授業の受け方を生徒とともに考えていきます。

7. 先生は、生徒のことをよく理解して、適時・適切に指導している

%表示	A	B	C	D	＜教職員の意見＞
生徒	44.4	46.3	7.9	1.4	・生徒理解に努めているが、まだ十分とはいえない所がある。
保護者	26.2	56.6	15.1	2.2	
教職員	43.8	46.9	9.4	0.0	

◇保護者からは「傷つける言葉を使う」「理解されずに怒られる」「相談しても対応されない」等の厳しい意見がありました。生徒指導は保護者の理解と協力が不可欠です。スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、子どものサポーター等を含めた教職員が、それぞれの立場で保護者と連携しながら生徒理解に努め、一人一人の生徒に応じた指導に取り組んでいきます。

8. いじめや暴力がなく、生徒は安心して学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	＜教職員の意見＞
生徒	59.0	34.2	4.4	2.5	・暴力等は、全く0にはなっていないが、組織として取り組んでいる。
保護者	32.1	50.0	14.6	3.2	
教職員	12.9	71.0	16.1	0.0	

◇生徒からは『『死ね』など、言っている人がいる』『いじめの解決の仕方が良くない』等の意見がありました。“いじめ”は、いつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉えています。

日々の生徒との関わりを通してだけでなく、月1回の「生活アンケート」や年2回の「教育相談週間」等、あらゆる手段で問題の早期発見に努めます。問題解決に向けては、機会を逸することなく適時・適切に指導し、その後も継続して見守っていきます。

9. 生徒の個性を大切に、生徒一人ひとりに活躍の機会と場がある

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	47.5	43.4	7.7	1.4	・まだ1年生なので、どんな活躍をしたのか。
保護者	24.3	58.6	15.0	2.1	
教職員	25.8	64.5	9.7	0.0	

◇保護者からは「部活動の種目がもう少しあれば、活躍の場が広がりそう」「大人の前ではおとなしく、子どもの中では力関係のある子がいる」「同じ子たちでなく、もう少し他の子たちも活躍してほしい」等の意見がありました。

学級を中心に、教育活動のどこかで一人一人の生徒が「みんなから認められ、共感され、大切にされている」と実感し、「みんなの為になっている。必要とされている」という自己有用感が感じる活動を今後も大切にしていきます。

10. 教育活動や学校行事などの時期や内容は、適切である

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	62.8	34.4	2.2	0.6	・中間テストの準備期間中に修学旅行があるのと思う。
保護者	44.8	51.2	2.8	1.1	
教職員	46.9	46.9	6.3	0.0	

◇保護者からは「2学期末考査と県大会の日が近く、両方は難しいのでは」「オープンスクールと文化祭の日が近すぎる」「たまたま小学校と中学校の行事がかぶる」「文化祭の展示時間をもっと増やしてほしい」等の意見がありました。

学校行事等の時期や内容については、毎年、小学校や関係組織等と調整しながら検討しておりますので、ご理解ください。

11. 生徒の部活動は、楽しく充実している。

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	58.7	32.5	7.7	1.1	・楽しくできているけど、ダラダラしているところは直したい。
保護者	35.0	51.8	9.5	3.6	
教職員	45.2	51.6	3.2	0.0	

◇保護者からは「部活動の取り組みに疑問がある」「先生の指導に対して理解しきれていない」「夏休みの宿題が終わるまで、2学期の部活を禁止にされた。」等、指導の在り方についての意見の他、「部活動の数が少ない」等という意見もありました。

1学期に保護者会を開いて、活動方針や活動計画等を説明していますが、部活動の在り方については、今後も保護者への説明に努め、理解を求めています。

12. 学校は、安全指導や健康管理に努め、安全で安心した学校生活を送れている

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	62.5	35.6	1.9	0.0	・しんどい時などに、我慢している人が多くいる。
保護者	40.7	53.9	3.9	1.4	
教職員	59.4	37.5	3.1	0.0	

◇保護者からは「緊急対応が、先生によって差があるように思う」という意見がありました。毎年、安全管理や緊急対応についての研修を行うとともに、怪我や病気等で学校生活に配慮のいる生徒については、全教職員の共通理解のもと、対応しています。今後も夏場の熱中症や落雷、食中毒や感染症予防など、周知徹底して適切な対応に努めていきます。

13. 施設・設備の整備や環境美化に努めていて、快適な学校生活を送れている

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	60.7	37.7	1.4	0.3	・技術室が夏は暑く、冬は寒いと言っている。
保護者	45.7	50.4	3.6	0.4	
教職員	40.6	46.9	12.5	0.0	

◇保護者からは「体育館内の倉庫の整理整頓が行き届いていない」という意見もありました。

本校では毎月1回、施設・設備に瑕疵がないか安全点検に行っています。また、改装から間がない綺麗な校舎を保つように生徒とともに心掛けています。特に、トイレの使用については、生徒も意識して環境美化に努めていると感じています。

次年度から、各教室にエアコンが設置されます。使用については「きまり」を決めて、徹底させていきます。

14. 生徒は、楽しく充実した学校生活を送っている

%表示	A	B	C	D	＜生徒の意見＞
生徒	64.8	30.3	3.3	1.6	・暴力や暴言が多い。
保護者	39.5	55.2	3.2	2.1	
教職員	17.2	82.8	0.0	0.0	

◇保護者からは「今後も細やかなケアをお願いしたい」「うわさ話などで苦痛を感じる時がある」等の意見がありました。教職員も全体的には概ね良好と捉えていますが、個々の生徒を見てみると課題もあると感じています。少数ではありますが、「楽しく充実している」と感じていない生徒に、今後も寄り添い関わっていきます。

15. 学校の教育活動は、全体的に見て満足できる状態である

%表示	A	B	C	D	＜保護者の意見＞
生徒	54.9	41.3	3.0	0.8	・長期間欠席している生徒への学習面のフォローがあればと思う。
保護者	35.4	55.4	7.5	1.8	
教職員	43.8	56.3	0.0	0.0	

◇今後も、保護者や地域の方々のご意見を参考にして、教育活動の充実に努めていきます。

○ その他の意見として

生徒からは「もっと高校のことを教えてほしい」、保護者からは「恐怖で縛りつけている」「ケガについて、誠意ある対応が見られない」「部活動で、親の協力が必要な時は早めの連絡を」等の教師の対応についての意見の他、「テストのはっきりとして順位を教えてください」「アンケートは、無記名にした方がよい」等の意見もいただきました。

「アンケート」を通しての貴重な意見は、全教職員で共有して検討していきます。